

第3回 西部緑地公園再整備「新産業展示館」整備検討部会 会議資料

2023年4月21日

石川県商工労働部

1. 現状整理（現在の産業展示館の利用状況、主な課題・ニーズ等）
2. 「新産業展示館」構想・骨子案＜概要＞
 - （1）新産業展示館のコンセプト
 - （2）新産業展示館の整備の方向性
 - （3）施設規模
 - （4）主な機能イメージ
 - （5）整備内容
3. 今後の進め方

1. 現状整理その1（施設概要、現在の産業展示館の利用状況）

（1）施設概要

- 産業展示館は、約50年前に、現在の2号館の整備を皮切りに順次整備。
- 1～4号館を合わせた展示面積は約17,700㎡で、全国屈指（地方都市では最大）の規模を有し、地元産業界の展示会・見本市や販売会、様々なイベントなど、幅広く利用いただいている。

施設概要	1号館	2号館	3号館	4号館
竣工	昭和56年8月	昭和47年6月	昭和49年3月	平成4年5月
展示面積	3,193㎡	1,641㎡	6,209㎡	6,675㎡
延床面積	5,134㎡	4,145㎡	8,987㎡	10,530㎡

※今回の再整備では1～3号館を建替

⇒ 1～4号館計：17,718㎡ / 1～3号館計：11,043㎡

⇒ 1～4号館計：28,796㎡ / 1～3号館計：18,266㎡

（2）利用状況

- 利用者数は年間100万人、稼働率は40%程度（コロナ前ベース）。産業利用が約7割を占め、「中古車展示販売イベント」の利用が最も多い。

→利用者数・稼働率の推移

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
利用者数	981,195人	1,062,000人	1,001,271人	1,032,020人	966,558人	206,581人	289,260人
稼働率	42.1%	42.0%	38.2%	44.8%	38.0%	23.6%	52.1%※

※ワクチン接種会場の長期利用による稼働率増

→利用目的（2019年）

産業：66.1% / 就職イベント：9.5% / 一般向けイベント（ラーメン博など）：9.5% など

※産業の主な内容 中古車展示販売会：34.3% / 住宅リフォームフェア：13.1% / 食品：12.1% / 機械：8.7% など

- 館別では、2号館（展示面積が最小）の利用が最多で、小スペース利用のニーズが高い。

1. 現状整理その2（現在の産業展示館の主な課題・ニーズ）

（3）主な課題・ニーズ

- 現在の1～3号館は、築45年以上が経過し、老朽化が進行。
- 大規模展示会では、スペースが足りず、出展を断るケースが出てきている。また、催事が集中する週末には、利用を断らざるを得ないケースも発生。
 - MEX金沢（2022年）：669小間（156社）、キャンセル待ち122小間（56社）
 - 繁忙期には、月5件程度の利用を断っている状況
- 展示会に併せたセミナーや商談に使用する会議室が不足。また、大規模なコンベンションを開催するためには、主会場となる展示場に加えて、分科会用に多くの会議室が必要。
- （玄関入って展示場の間取りのため）来館者等の滞留空間、休憩・くつろぎスペースが不足。
 - 大規模イベント時には、入場待ちの参加者は館入口前の屋外で待機せざるを得ない状況。特に雨天時の対策が困難。
- 照明・音響・空調などの各種設備は時代にそぐわなくなってきた。また、Wi-Fiをはじめとするデジタル化や太陽光パネルなど環境に配慮した設備の導入など、新たな時代の要請への対応が必要。
- （大規模イベントの主催者からは）園内の駐車場不足への対応や混雑緩和に向けた対策の強化を求める声が多い。
- 県民の皆様からは「産展（さんてん）」の名称で親しまれている一方で、イベント・催事目的の来館者が大半で、公園利用者等が気軽に立ち寄れる場所・空間になっていない。

1. 現状整理その3 (第2回検討部会での主なご意見等)

■ 新産業展示館のコンセプト

- ・産業界の立場からすると、産業振興を中心に据えて検討を進めてほしい。
- ・小松アリーナとの棲み分けをしっかりと考えるべき。

■ 駐車場・動線等

- ・十分な台数の駐車場を整備する必要がある。
- ・駐車場から展示場まで雨のかからないような動線をつくるなど、利便性を重視してほしい。
- ・周辺道路との関係や渋滞対策も考えるべき。
- ・来場者の駐車スペースはもちろんのこと、商品や設営機材を搬入搬出するトラックなどの十分な待機スペースが必要である。

■ 展示ホール・会議室

- ・プレーンな正方形もしくは長方形の展示場があって、その周りに会議室・控室等を配置するのがよい。
- ・照明、給排水、電源などの付帯設備が重要である。
- ・大きな空間が必要ではない展示会もある。(骨董市や盆栽市、ファッション、園芸、食文化など)
- ・2階などに会議室があれば学会もより多く開催できる。
- ・会議室については、県民が日常的に使う場所としても考えられる。

■ 付帯的な機能

- ・ワーキングスペースやレンタルオフィスみたいなものを併設するのはどうか。

2. 構想・骨子案〈概要〉その1

(1) 新産業展示館のコンセプト

産業成長のための展示機能を核とした賑わい空間づくり

① 産業界をはじめ、利用者にとって使い勝手の良い施設となるよう、**産業振興拠点としての展示機能等の強化**

- ・ 展示会・見本市をはじめ、大型コンベンションや各種会議等の利用も可能な、使い勝手の良い魅力的な施設の整備
- ・ 展示会に併せたセミナーや商談の実施、館内でのリモートワークやビジネス交流をサポートする機能の充実 など

② 公園内の施設としての立地を活かした、公園のメインコンテンツの一つとしての**賑わい・交流拠点の創出**

- ・ 緑地（芝生）スペースからアクセスしやすい動線の確保や、公園の緑とも調和したデザイン等の採用
- ・ イベント・催事の参加者に限らず、公園来場者等の利用も想定した、賑わい・交流に係る機能の導入検討 など

※ **アリーナ機能は整備しない**（民間主導（北國フィナンシャルHD）の小松アリーナと棲み分け）

- 〈現状〉・これまで建て替えにあたっては、大型コンサート（1万人規模）など多様な用途にも対応できる施設とする方向で検討
・小松アリーナの計画が進行する中、県もアリーナを整備した場合、大型コンサート対応の機能が重複する

〈参考〉 北國フィナンシャルHDが計画する「小松アリーナ」の概要

【整備候補地】安宅新土地区画整理事業地内（小松空港隣接地域） 【施設規模】アリーナ1万席

【主な利用想定】ハンドボール「北國銀行ハニービー」の本拠地、コンサートやスポーツなど大規模イベントも想定

2. 構想・骨子案〈概要〉その2

(2) 新産業展示館の整備の方向性

① 産業振興拠点機能等の拡充

- ・ 利用状況や新産業展示館へのニーズ等を踏まえ、**展示面積**（現1～3号館 **11,043m²**）を**拡大**するとともに、**間仕切等により分割可能な展示ホール**を設置
- ・ 展示会に併せたセミナー・商談や大規模なコンベンションに使用する**大中小の会議室**を多数整備
- ・ 展示場利用の際に必要な十分な滞留空間、スムーズな動線が確保できるゆとりある**ホワイエ空間**を整備
- ・ 来場者のリモートワークやビジネス交流をサポートする**ワークスペース**を整備

〈イメージ・例〉



引用 <https://www.komatsuwall.co.jp/case/detail/2913>
間仕切り（Gメッセ群馬）



引用 <https://hamakore.yokohama/coworking-yokohama-workspace-asobuilding-202205/>

ワークスペース

② 公園と調和した賑わい・交流拠点の創出

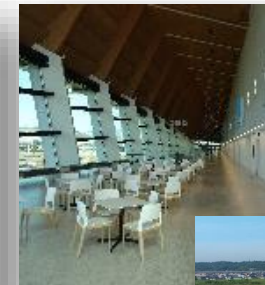
- ・ ホワイエ空間に来場者・公園利用者等のゆとりある**休憩・くつろぎスペース**を整備【再掲】
- ・ 公園内の施設として、**公園の緑と一体化した空間**や**公園とともに人が賑わう機能**を整備

〈イメージ・例〉



引用 https://portmesse.com/wp-content/uploads/Portmesse_pamphlet.pdf

ゆとりあるホワイエ空間（ポートメッセなごや）



←休憩・くつろぎスペース
（ポートメッセなごや）



屋上緑化→
（富山県美術館）

引用 <https://rad-toyama.jp/facility/rooftop>

2. 構想・骨子案〈概要〉その3

(2) 新産業展示館の整備の方向性

③ 新たな時代の要請への対応及び利便性向上（催事主催者・来場者の双方の視点から）

- ・ Wi-Fiをはじめとするデジタル化、太陽光パネルなど環境に配慮した設備を導入
- ・ 展示館と近接する形で駐車場（立駐含む）を確保
- ・ 現4号館との間との動線を確保し、一体的な利用も可能
- ・ 大規模空間を活かした防災機能の設置

<イメージ・例>



引用 <https://www.pref.gunma.jp/page/15011.html>
太陽光パネル（Gメッセ群馬）



引用 <https://www.g-messe-gunma.jp/organizer-facilities-figure.html>
立体駐車場（Gメッセ群馬）

(3) 施設規模〔想定〕

① 展示面積

現1～3号館の展示面積より拡大

※現1～3号館：11,043㎡

- 1つの館に統合して必要十分な規模を確保
→現状：1～3号館 11,043㎡、4号館と併せて 17,718㎡
- 大規模展示会では、スペースが足りず、出展を断るケースが出てきている。また、催事が集中する週末には、利用を断らざるを得ないケースも発生
→MEX金沢 669小間(156社)、キャンセル待ち122小間(56社)

② 共用・交流スペース面積

ホワイエや会議室など、展示場以外のスペース

少なくとも展示面積と同規模以上

- ゆとりあるホワイエ空間、大・中・小 会議室、賑わい・交流機能 など

参考

※近年整備された展示場では、共用・交流スペースが充実

【ポートメッセなごや】

展示面積：20,160㎡、共用・交流スペース面積：**20,446㎡**（展示面積の1.0倍）

【Gメッセ群馬】

展示面積：10,000㎡、共用・交流スペース面積：**22,724㎡**（展示面積の2.3倍）

※具体の規模は、コンサル会社による需要調査や民間提案等を踏まえ最終決定

2. 構想・骨子案<概要>その4 ※参考：全国の最近建設された展示場、北陸エリアの展示場の状況

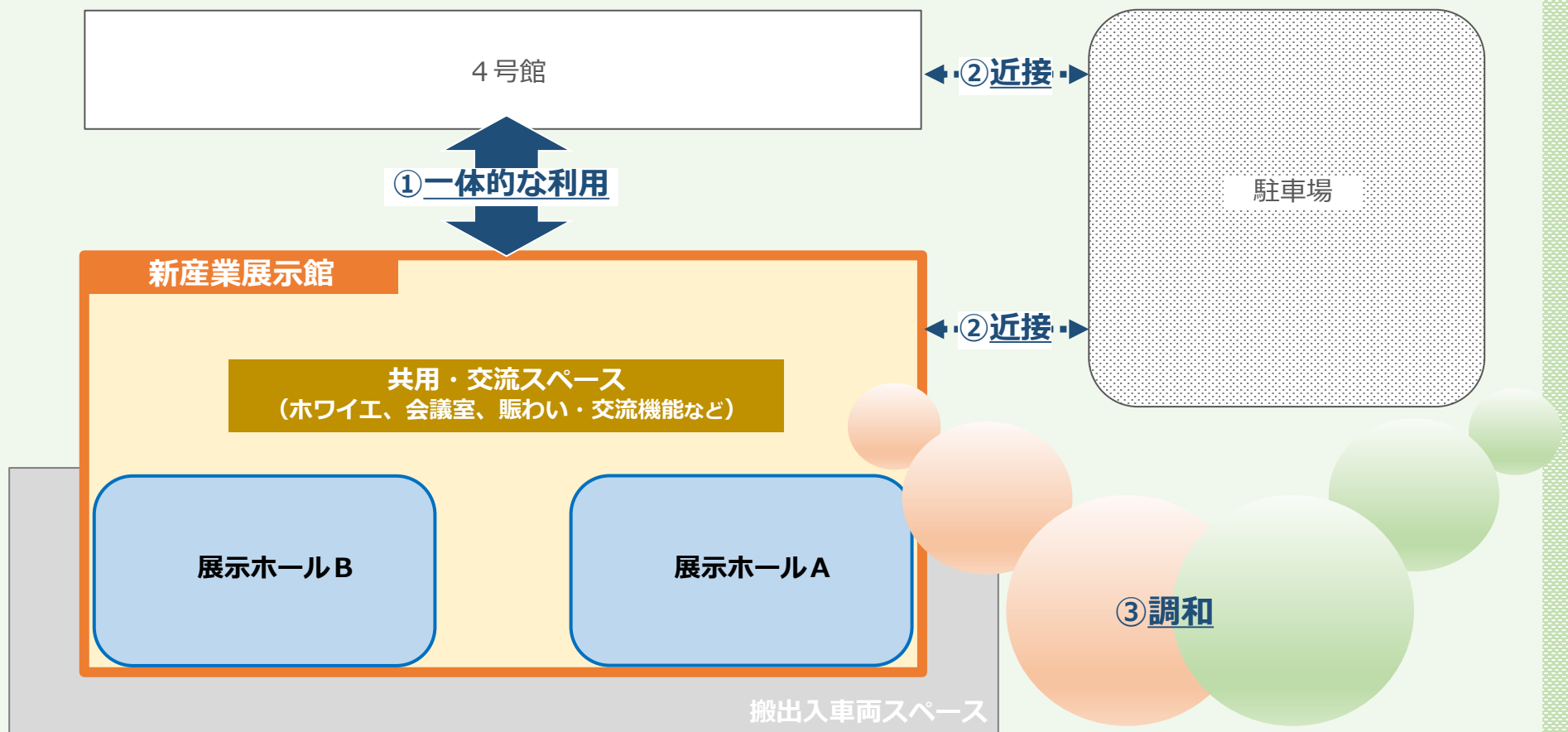
	<u>愛知県国際展示場</u>	<u>Gメッセ群馬</u>	<u>マリンメッセ福岡 B 館</u>	<u>ポートメッセなごや 新1号館</u>	<u>朱鷺メッセ</u>	<u>富山産業展示館</u>	<u>サンドーム福井</u>
	整備主体：愛知県 所在地：常滑市	整備主体：群馬県 所在地：高崎市	整備主体：福岡市 所在地：福岡市	整備主体：名古屋市 所在地：名古屋市	整備主体：新潟県 所在地：新潟市	整備主体：三セク（県・市） 所在地：富山市	整備主体：福井県 所在地：越前市
外観	 <small>引用 https://www.pref.aichi.jp/soohiki/koikonai-bankai/ten3.html</small>	 <small>引用 https://www.g-messe-gunma.jp/organizer-facilities-figure.html</small>	 <small>引用 https://www.marinemesse.or.jp/gallery/5-01.html</small>	 <small>引用 https://portmesse.com/facility</small>	 <small>引用 https://www.tokimesse.com/sponsor/support/photo.html</small>	 <small>引用 http://www.schoohall.or.jp/</small>	 <small>引用 https://www.doku-w.com/photo/detail_538.html</small>
開業年	R1年8月	R2年6月	R3年4月	R4年10月	H15年5月	S58年9月 H29年10月増築	H7年7月
展示面積	60,000㎡ (50,000㎡ (5分割可能) + 10,000㎡)	10,000㎡ (3分割可能)	5,000㎡ (分割不可)	20,160㎡ (4分割可能)	7,800㎡ (2分割可能)	6,997㎡ (3,363㎡ (4分割可能) + 3,634㎡ (4分割可能))	8,000㎡ (分割不可)
共用・交流 スペース面積	30,415㎡	22,724㎡	5,622㎡	20,446㎡	23,634㎡	6,764㎡	13,924㎡
延床面積	90,415㎡	32,724㎡	10,622㎡	40,606㎡	31,434㎡	13,761㎡	21,924㎡
会議室	18室 (30～300㎡) ※連結時最大800㎡	37室 (8～650㎡)	2室 (354、373㎡)	15室 ※コンベンション センターが近接	12室 (60～649㎡)	2室 (108、300㎡)	なし
展示場 タイプ	<u>2つの展示場を ホワイエで繋ぐ</u>	<u>1フロアの 大型展示場</u>	<u>1フロアの 大型展示場</u> ※A館と大屋根で繋ぎ、 一体利用可能	<u>1フロアの 大型展示場</u>	<u>1フロアの 大型展示場</u>	<u>2つの展示場を ホワイエで繋ぐ</u>	<u>1フロアの大型 イベントホール</u>

2. 構想・骨子案〈概要〉その5

(4) 主な機能イメージ①

- ① 新産業展示館は、現4号館と近い場所に整備し、一体的な利用も可能とする
- ② 来場者等の利便性向上の観点から、新産業展示館と近接する形で駐車場（立駐含む）を確保
- ③ 公園と調和した賑わい・交流機能の整備を検討

【西部緑地公園】



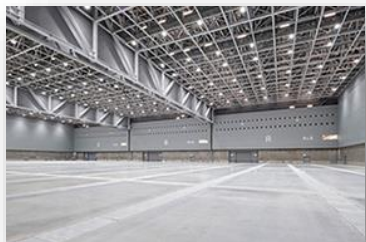
2. 構想・骨子案〈概要〉その6

(4) 主な機能イメージ②

【展示スペース】⇒ **11,043㎡より拡大**

■ 2ホール構成による多様な催事への対応

- ✓ 展示ホールを2つに分けることで、大きな音のイベントも含めた**多様な催事の複数同時開催**が可能
- ✓ 2ホールは共用・交流スペース（ホワイエ）でつなぐことで、**大規模催事では一体的な利用**も可能



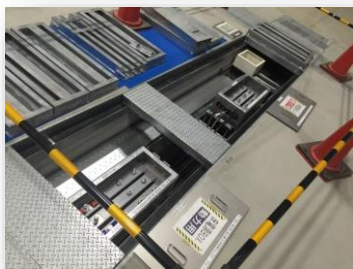
引用 <https://www.g-messe-gunma.jp/visitor-facilities-exhibitionhall.html>
大規模な無柱空間（Gメッセ群馬）



柱あり※コスト抑制
(愛知県国際展示場)

■ 使い勝手の良い床仕様、主催者控室

- ✓ 床は**十分な耐荷重**を確保したコンクリート仕上げ、電源や通信等への接続が可能な**十分な容量のピット**、給排水設備を整備
- ✓ 展示ホールに隣接する形で、主催者にとって利便性の高い控室等を設置



引用 <http://tower-world.jp.org/db/?p=5018>
床下ピット（東京ビッグサイト）



引用 https://www.m-messe.co.jp/organizers/guide/eventhall/guide_eventhall
主催者控室（幕張メッセ）

■ 間仕切りの設置、十分な天井高・吊り耐荷重

- ✓ **間仕切りで分割利用可能**な展示ホールを設置
- ✓ 大型の展示物や重量物にも対応できる**十分な天井高・吊り耐荷重**を確保



引用 <https://www.axona-aichi.com/projects/archives/397>
間仕切設置（Gメッセ群馬）



引用 <https://news.witch.jp/image/26835>
大型の展示物にも対応できる十分な天井高

■ 搬入動線・搬入車両スペースの確保

- ✓ 大型の搬入口を設置し、**大型車両が直接乗入可能**
- ✓ 搬入車両が円滑に出入できる搬入車両路、駐車・待機スペースを確保



大型の搬入口（愛知県国際展示場）



引用 <https://www.newtech-inc.jp/logistics/>
大型車両が直接乗入して会場設営

2. 構想・骨子案〈概要〉その7

(4) 主な機能イメージ③

【共用・交流スペース】⇒ 展示面積と同規模以上

■ ホワイエ

- ✓ 来場者・公園利用者等のゆとりある（開放感溢れる）ホワイエ空間
- ✓ 休憩・くつろぎ、ワークスペースを確保



引用 <https://www.sora-scc.jp/guide/photo.html>

ゆとりあるホワイエ空間
(札幌コンベンションセンター)



休憩スペース (G Messe 群馬)

■ 会議室

- ✓ 間仕切で分割可能な大会議室
⇒ レセプション・交流会や小規模な展示会等も開催可能
- ✓ 中・小会議室
⇒ 各種会議・セミナーのほか、県民の利用も想定



大会議室 (愛知県国際展示場)



引用 <https://www.aichiskyexpo.com/organizer/>

会議室で開催する小規模な展示会

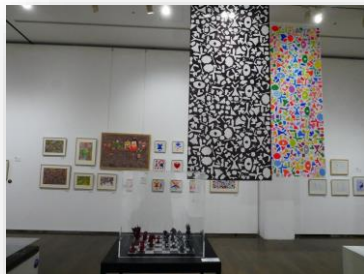
■ その他賑わい・交流機能

- ✓ イベント・催事の参加者に限らず、公園利用者等が気軽に立ち寄りたくなる機能を整備検討 (飲食スペース、親子等が楽しめる (見て・遊んで・学べる) 空間など)
- ✓ 公園の緑と一体化した賑わい空間を整備検討 (屋上緑化など)



引用 <http://www.r-system.co.jp/kitchencafe/example/post-15758/>

飲食スペース (キッチンカーにも対応)



引用 <https://kanazawa10no3.hatenablog.com/entry/2022/03/24/072251>

県民 (児童・生徒、文化芸術団体等) の作品展示
コーナー (金沢21世紀美術館市民ギャラリー)



デジタルを活用した体験コーナー
(名古屋科学館)



引用 <https://tad-toyama.jp/facility/roof-top>

屋上緑化 (富山県美術館)

2. 構想・骨子案〈概要〉その8

(5) 整備内容(まとめ)

エリア	事項	整備内容(案)
展示スペース	展示ホール面積	・現1～3号館の展示面積(11,043㎡)より拡大
	ホール構成	・多様な催事の複数同時開催を可能とするため、2ホールに分割して整備
	間仕切	・小規模な利用ニーズに対応できるよう、間仕切を設置
	空調(冷暖房)設備	・規模に応じた効率的な空調(冷暖房)設備を導入
	床仕様	・コンクリート仕上げとし、十分な耐荷重を確保 ・電源や通信等への接続が可能な十分な容量のピット、給排水設備を整備
	天井高	・大型の展示物にも対応できる十分な天井高を確保
	吊り機構、照明	・ホール内各所に重量のある吊り物を設置可能、必要十分な光量の照明を設置
	バックヤード	・車両の円滑な乗り入れが可能なバックヤードを整備
共用・交流スペース	控室等	・展示ホールに隣接する形で、主催者にとって利便性の高い控室等を設置
	ホワイエ	・必要十分な広さ・高さを確保したホワイエ空間を整備
	会議室	・展示会に併せたセミナーや商談のほか、全国大会等のコンベンションや小規模な展示会等の開催も可能な大・中・小の会議室を整備
	ワークスペース等	・来場者や公園利用者等が利用できるワークスペース等の設置を検討
	カフェ・飲食スペース	・来場者や公園利用者等が利用できるカフェ・飲食スペースの設置を検討(キッチンカー対応等)
	賑わい・交流機能	・来場者や公園利用者等が気軽に立ち寄りたくなる(利用・体験できる)賑わい・交流機能の設置を検討 ※動線への配慮や、管理・運営方法を見据え検討
	コインロッカー、自動販売機等	・来場者の手荷物等を保管できる必要十分なコインロッカーや飲料等の自動販売機を設置
	トイレ	・多数の来場者を見込む大規模催事にも対応可能な使い勝手の良いトイレを設置
屋上スペース	その他	・事務室、VIPルーム、機械室、倉庫、その他
		・屋上緑化、太陽光パネル等の設置を検討
全館		<ul style="list-style-type: none"> ・全ての人にとって利用しやすいユニバーサルデザイン、バリアフリーを導入 ・最新のデジタル技術(5G、Wi-Fi環境等)を導入 ・防災機能は「広域物資輸送拠点」等をはじめとする対応を検討 ・ZEB Ready等の導入を検討

3. 今後の進め方

本日の議論を踏まえ、骨子案を取りまとめて、公園全体を対象に、民間事業者から意見を求める「マーケットサウンディング」、「パブリックコメント」を実施し、年内に最終案を取りまとめ